



空から降りてくる幸せ

まちに暮らす

いにしへの時代から、京には多くの人々が集まり、暮らしてきました。"都心"というような冷たい響きの言葉は似合わないこの街は、人々の暮らしとともに存在しつづけています。通りから少し入れば、静かな佇まいがあってやさしい空気に包まれる。互いに軒を連ねながらも緩やかに分けられた個人の空間があって、みな安心して暮らしていただける。活動と休息の適度なバランスを保ちながら生きられる街なら、長くそこに住みたいと誰もが思うことでしょう。

自然を取り込む

町家には坪庭、寺社には枯山水、というように、自然との関わりは暮らしの中の当然の要求としてあるものと思います。自然は何か不思議なエネルギーを持っているに違いなく、それを意識しながら暮らすことは何らかのポジティブな効果をもたらすと考えられます。この意識は街なかにはどうしても忘れがちだからこそ、あえて自然を取り込もうとする努力があるのだと思います。

空への意識

晴れ渡った空を仰ぐととても清々しい気分になります。そして、空は晴れたり曇ったり、雨が降ったり、季節が変わればまた違う表情も見せてくれます。

街なかで手軽に手に入る自然といえば、"空"ということになるでしょうか。空は誰の上にも存在していますが、あえて意識することは意外に少ないと思います。そこで、住まいの中に"空"を取り込んでみようというのがこのプランです。居ながらにして空を感じられる生活。たとえ他に特別なことをしなくとも、自然とともに暮らしている実感を感じることができるでしょう。

キーワード

ナチュラル（自然素材）

私たちは自然の素材の質感と色彩を大切に考えています。自然素材は、年を経るごとにその表情を豊かにしていきます。自然素材は、多くの緑・本当の自然とあいまって、様々なシチュエーションを豊かに演出してくれます。

クリーンリネス（分かりやすく使いやすいこと）

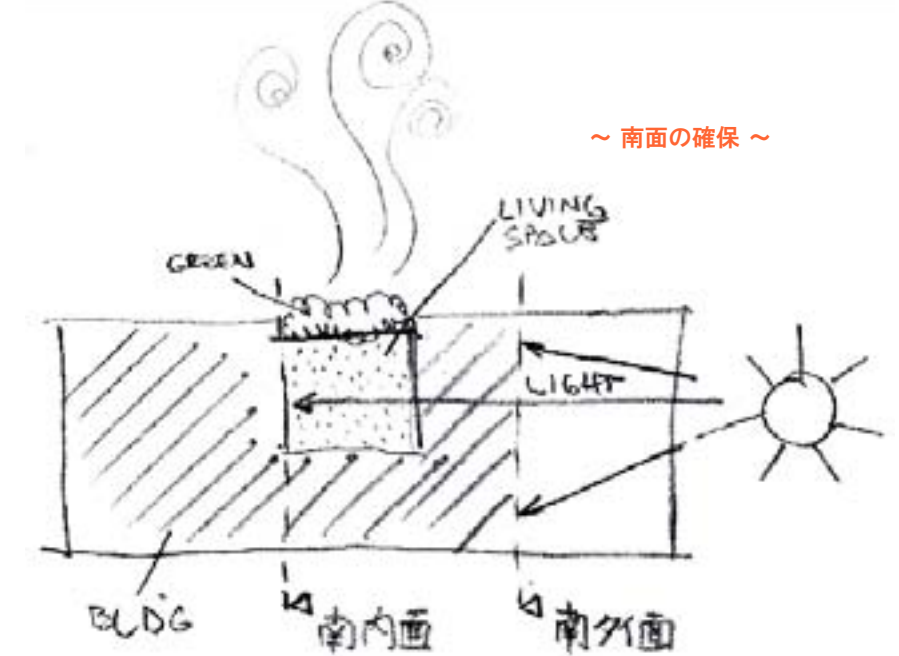
部屋は、使い勝手に従って流れるように並ぶのが使いやすいでしょう。生活のシーケンスがそのまま部屋の配置になっているような住宅が、分かりやすく使いやすいと考えています。収納やサービス空間がしっかりしているべきだと考えます。ウォークイン・クローゼットや、物入れ、ロフト、ユーティリティルーム、などの豊かな収納・サービス空間を設け、本当に必要なスペースが常にすっきりと片付いている状態が、毎日の生活を便利で整然としたものにしてくれます。

フレキシビリティ（柔軟性）

私たちは、将来の家族構成や生活スタイルの変化に対応できるフレキシビリティの高い住宅を提案します。プライベートスペースとパブリックスペースは、連続した空間により有機的につながります。住み手の生活スタイルの変化に対応して、柔軟に仕切り方を変えられるような空間をつくります。

アーバンコンフォート（都市的快適性）

前庭は、メンテナンスの容易な玉石舗装で仕上げるなど、都市的な快適性を追求することも忘れてはなりません。限られた土地で豊かに暮らすために、住宅の屋上やテラスといった外部空間の緑化を考えます。植物たちにとっても、太陽に近いテラスで育つことが適切であるのは言うまでもありません。



南北に長い建物に、南からの日差しを取り込むためには、複数の南面を意識的に作り出す必要があります。一つは玄関側に、もう一つは中央のリビングスペースに南面を設けることを間取りのコンセプトにしています。

プロジェクトデータ

敷地面積：138.7㎡（42.0坪）

建築面積：76.9㎡（23.3坪）=55.4%

延床面積：139.6㎡（42.3坪）=100.6%

造規模：木造2F建て

